

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健体育・体育③	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>運動の多様性や体力の必要性について理解し、技能を身に付けることで、生涯にわたって運動を継続できる。</p> <p>課題を発見し、自己や仲間の考えを他者に伝えることができる。</p> <p>一人ひとりの違いを大切にし、健康や安全を確保して、運動に親しむことができる。</p>
使用教科書 副教材等	最新高等保健体育改訂版(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
趣旨	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、具体的な知識と汎用的な知識を関連させて理解し、健康・安全を確保して学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指し、自己や仲間の課題解決に向けて、取組を工夫したり、自己や仲間の考えを他者に伝えることができる。	運動の合理的な実践を通して、勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を活用することができる。	運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、練習や発表の仕方、健康・安全の確保の仕方、歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴を理解することができる。
評価割合	25%	25%	25%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断
前期	1 体づくり運動	・授業に臨む態度 ・授業参加の内容	・授業中の観察・態度 ・授業参加の内容
	2 卓球		
	3 バドミントン	12.5%	12.5%
	4 サッカー	運動の技能	知識・理解
後期	5 ダンス(ソーラン節)	・スキルテスト ・ワークシート	・授業中の観察・態度 ・課題提出
	6 体育理論		
	1 体育理論	関心・意欲・態度	思考・判断
	2 卓球	・授業に臨む態度 ・授業参加の内容	・授業中の観察・態度 ・授業参加の内容
3 ソフトバレー			
4 ダンス(ソーラン節)	12.5%	12.5%	
後期	5 ソフトボール	運動の技能	知識・理解
	6 バスケット		
	7 サッカー	・スキルテスト ・ワークシート	・授業中の観察・態度 ・課題提出
	8 体づくり運動(トレーニング)		
9 陸上(長距離)	12.5%	12.5%	

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	1 体づくり運動 体ほぐしの運動 体力を高める運動	4	
	5	2 卓球 ピン球慣れ ラケットワーク サーブの打ち方(フォア・バック) ルール ラリー ゲーム	6	
	6	3 バドミントン シャトル慣れ ラケットワーク 各種フライトの打ち方 ルール ラリー サービス(フォア・バック) ゲーム	6	
	7	4 サッカー パス キックの種類 ドリブル トラッピング シュート ルール 攻撃や守備 ゲーム	6	
	8	5 ダンス(ソーラン節)テーマに対してふさわしい動きをする 仲間と協力してまとめる 音楽に合わせて仲間と発表をする	7	
	9	6 体育理論 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルにおうじたスポーツ	4	
		前期の学習のまとめ	2	
	後期	10	1 体育理論 3 日本のスポーツ振興 4 スポーツと環境	2
			2 卓球 前期に同じ	6
11		3 ソフトバレー ボール慣れ パス(オーバー・アンダー) レシーブ スパイク ルール 攻撃や守備 ゲーム	4	
		4 ダンス(ソーラン節)前期に同じ	4	
12		5 ソフトボール キャッチボール バッティング ピッチング ポジション ルール 攻撃や守備 ゲーム	6	
1		6 バスケット パス ドリブル シュート(ドリブル・レイアップ) ルール ゲーム	6	
2		7 サッカー 前期に同じ	2	
		8 陸上(長距離) ペースランニング	2	
		9 体づくり運動 ストレッチ ウェイトトレーニング	1	
3		後期の学習のまとめ	2	

5 その他

体育③の授業では、ラジオ体操や補強後、前期前半は体づくり運動を後半は自分の意志で種目を選択し、その種目を行います。後期は前半・後半にそれぞれ種目を選択しラジオ体操・補強やペースランニング後にその種目を行います。評価の観点は種目ごとでスキルテストを行い知識・理解や技能を評価し、思考・判断では授業中の観察や態度など行動観察で評価し、欠課や見学、忘れ物などをしないように関心・意欲・態度を評価します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育・生涯スポーツ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>知識を深めるとともに運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができる。</p> <p>自分の能力に応じて、体力の向上を図ることができる。</p> <p>健康・安全に留意して運動することができる。</p> <p>生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するために必要なことを考え、実践することができる。</p>
使用教科書 副教材等	最新高等保健体育改訂版(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
趣旨	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとする。	生涯にわたるスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続する取り組み方を工夫するとともに、状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫することができる。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を活用することができる。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の具体的な方法、歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴を理解し、活用することができる。
評価割合	25%	25%	25%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断
前期	オリエンテーション 生涯スポーツの実践 スポーツライフプランの設定 グループ別活動	・授業に臨む態度 ・授業参加の内容	・授業中の観察・態度 ・授業参加の内容
		12.5%	12.5%
		運動の技能	知識・理解
		・スキルテスト ・ワークシート	・授業中の観察・態度 ・課題提出
		12.5%	12.5%
後期	練習会の企画・実践 大会・発表会の企画 大会・発表会の運営 まとめ・グループ発表	関心・意欲・態度	思考・判断
		・授業に臨む態度 ・授業参加の内容	・授業中の観察・態度 ・授業参加の内容
		12.5%	12.5%
		運動の技能	知識・理解
		12.5%	12.5%
		12.5%	12.5%

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1 オリエンテーション 体育①～③の振り返り 体育理論	4
	5	2 生涯スポーツの実践 ゴール型(アルティメット) ネット型(バレーボール) ベースボール型(ソフトボール) ターゲット型(ゴルフ) 種目別ゲーム形式	8
	6	3 スポーツライフプランの設定 アンケートと希望別グループ分け 種目設定	7
	7 8	4 グループ別活動 種目の特性や歴史 グループ別実践 課題探究・解決	14
	9	前期の学習のまとめ	2
後期	10	1 練習会の企画・実践 指導案の作成(個人) 練習会の運営・参加	8
	11	2 大会・発表会の企画 競技別練習会の企画・話し合い	8
	12 1 2	3 大会・発表会の運営 競技会の実施	17
	3	4 まとめ・グループ発表 競技会の反省・振り返り・評価	2

5 その他

指定の体操服・体育館シューズで、授業に出席するようにしてください。忘れた場合は、受講を認めません。本校の生徒としての自覚をもち、規則や約束を守るなど、責任をもった行動のできる者のみ受講して下さい。現代社会において、健康を維持していくためには、運動することがとても大切です。授業を通して、生涯を通じて行うことができる「マイスポーツ」を見つけいきましょう！